

新型コロナウイルスで苦しむ高齢者に あらたな負担増 - わたしたちは反対です

6月1日、厚生労働省は新型コロナ対策であらたな通知を発出しました。

みなさんはこのコロナ禍、被害を受けているのは誰だとお考えでしょうか？

身体の機能や認知症の進行を予防しようと利用していたデイサービスやデイケアの利用者の感染を防ぐため控えなければと利用をとりやめたお年寄りや障がい者の皆さんはもちろん被害者です。

介護から少しだけ離れてあらたな気持ちで介護に臨むためにショートステイを使いたいけれど大切な人を感染させるかもしれないからショートの利用は我慢しようと考えるご家族も被害者です。

そして利用者の減少と感染予防のための経費の増加で苦しむ事業者ももちろん被害者です。

その苦しんでいる人たちを守り、支えるのは国の仕事じゃありませんか？

ところがこの通知は「被害者同士が助け合いなさい」とも言うべきものです。

この通知は通所系サービス、短期入所サービスを利用なさっている方があらたに負担を増やして事業所の収入を増やせというものです。

おかしくありませんか？

利用者の側から見ると負担は増えてもサービス内容は変わりません。負担増だけです。

この負担増に同意をしない方は自己負担を増やさずに継続してサービス利用が可能です。

同じ内容の介護サービスでも負担増を求めている事業者もあります。つまり同じ時間介護を受けても自己負担が増える事業所と増えない事業者が混在しているのです。

そして利用を控える方には当然負担はありませんが、その人たちの心身機能を守る事は難しくなります。

そのうえ、訪問介護や訪問看護はウイルスを通過させる布マスク配布だけ。

これがまともなコロナ対策でしょうか？

厚生労働省はこの批判を浴びている通知について、事業者への経済的な補填ではなく、コロナ対応でかかる手間を評価したと述べているそうです。

現場を預かるものとしてこの見苦しい弁明には怒りすら感じます。

ケアマネージャーは保険請求時のデータ修正やそれによって生じている給付限度額の圧迫に対応したケアプランの見直し、利用者への説明で手間は増えています。

通所、短期入所の事業者も保険請求が複雑になることや利用者さんへの説明と同意書を頂く手間が増えています。

きょうと福祉倶楽部は被害者をさらに苦しめるコロナ対策を口実にした負担増に強く抗議します。

本の紹介

イラスト図解

いちばんわかりやすい介護術
動きが見える

三好春樹
永岡書店

1,650円 (税込)

JANコード/ISBNコード：9784522437759



昔ケアマネージャーとして勤務していた医療法人での出来事。体重はとても軽い脳梗塞のご婦人がいました。彼女は週に何度か法人のデイケアに参加していました。

送迎に来る職員は「この人軽いから」と身体をかかえて車に乗せることをなんら苦勞せず毎回やっていました。

ところがある日、彼女は肺炎を起こしたのです。

当然入院になります。入院すると「入院時一式」と様々な検査が行われます。

レントゲンを見てびっくり。

彼女の肋骨は何カ所も骨折していたのです。発語も不自由になっていた彼女は「もっと優しくやってよ」「痛い!」と訴えることもできなかったのです。

力任せにやる介護はこういう悲劇を知らぬうちに起こしているのです。

そしてご本人ができる事を奪う前にわたしたちはどのような支援をしたならば高齢者の持っている力を引き出せるのかを考える事が必要です。

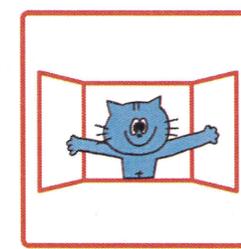
介護に携わることご家族は介護の初心者です。そして介護にあたる職員も残念ながら十分な介護技術を習得している人ばかりとは言えません。

この本はイラストも豊富に介護の方法を教えてくれる介護の入門書です。

困ったときにちょっとこの本を開けば「ああ、そうか」とうなずける内容満載です。



手を洗おう
#WashHands



換気をしよう
#OpenWindow



有限会社 おとくに福祉研究所
きょうと福祉倶楽部

〒617-0824
長岡京市天神4丁目7-12 ハイッ東台101号
TEL 075-958-2560 FAX 075-957-2808
E-mail info@fukushi-club.com